

第68回定期演奏会

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

ムソルグスキー「はげ山の一夜」
ラフマニノフ「パガニーニの主題による狂詩曲」
チャイコフスキー「交響曲第6番ロ短調作品74悲愴」

2018年12月16日(日)
14:00開演
佐倉市民音楽ホール

1989年東京出身、15歳からロンドン在住。2010年ブラームス国際コンクール優勝、2011年英国の最高峰・ウィンザー祝祭国際音楽コンクール優勝以来、V.アッシュケナージ、小澤征爾、小林研一郎、大友直人、山下一史らをはじめ、フィルハーモニア管、サウスバンク・シンフォニア、クラゲンフルト歌劇場管、オザワ祝典アンサンブル、読響、東響、大フィル、群響などと共演。

バロックから現代まで幅広いレパートリーの中でもとりわけラフマニノフ作品の演奏・解釈は国際的に高い評価を受け、音楽界の殿堂ウィグモア・ホールでのチェリスト史上初となったオール・ラフマニノフ・リサイタルをはじめ、ロイヤル・フェスティバル・ホール、英国王室御前演奏、ウィンザー城、パリ・マリニー劇場、ローマ・マルケッルス劇場、ザルツブルク・ミラベル宮殿、紀尾井ホールなど、各国主要ホールでリサイタルを開催。2016年には宮沢賢治生誕120年記念NHK世界放映リサイタルを開催、100年記念にはヨーヨー・マが行った大役を担った。

デビューアルバム「ラフマニノフ:チェロ作品全集」はストラッド誌特選盤、最新アルバム「ザ・ロマンティック」はレコード芸術誌特選盤受賞。

指揮者としてナイツブリッジ管(英)芸術監督を務め、英BBC、NHKをはじめ各国のテレビ、ラジオ番組への出演、クラシック音楽ラジオ局OTTAVA「伊藤悠貴 The Romantic」のパーソナリティも務めるなど、活動は多岐に渡る。

英国王立音楽大学首席卒業。プロフィール元:音楽事務所ジャパン・アーツ

【指揮】
伊藤 悠貴



©Yukihiro Ito

ムソルグスキー：はげ山の一夜

モデスト・ムソルグスキー (Modest Petrovich Mussorgsky 1839-1881) はロシアの国民楽派の作曲家です。アカデミックな教育を受けずに自分の感性によって、個性的なクラシック音楽を作りました。

管弦楽曲「はげ山の一夜」は、ピアノ組曲「展覧会の絵」と共に彼の代表作ですが、この曲は彼の生前には未完であったものをリムスキー＝コルサコフ (Nikolai Andreevich Rimsky-Korsakov 1844-1908) が編曲したものが、今日知られているものです。メグテンの戯曲「妖婆」を元にしたもので、当初は歌劇を予定して作られました。ロシアでバーバ・ヤーガ баба а-я га (英Baba-yaga) は、ロシア民話に出てくる人間を食べる魔物、怪物を意味します。魔女というよりも鬼婆、妖怪に近いイメージです。

曲の内容は、夏至の祝祭「聖ヨハネ祭」前夜 (Midsummer's Eve) に魑魅魍魎 (ちみもうりょう) がはげ山に集まり饗宴を行うというものです。聖ヨハネ祭の前夜には妖精や魔女が現れ、死霊や生霊などが乱舞すると信じられ、シェークスピアの「真夏の夜の夢」もこの伝承を使っています。「はげ山の一夜」は、その異様な光景を、それまでのクラシックにない独創的かつ劇的な表現で描いています。

ムソルグスキーはまるで絵画を描いているように、情感豊かに作品を作り上げています。ディズニー作品の「ファンタジア」にも使用されており、今日でも私たちの想像力を刺激する魅力的な作品となっています。◆阿部 博 (Tb)

ラフマニノフ：バガニーニの主題による狂詩曲

社会主義革命による混乱の渦にあった祖国ロシアを1917年に離れて以降、生涯を終えるまで二度と故郷へ戻ることが叶わなかったセルゲイ・ラフマニノフ (1873-1943) が5曲作曲した「ピアノ協奏曲」のうち、1934年に発表された最後の作品です。

この「バガニーニの主題による狂詩曲」は、一般的な複数楽章からなるピアノ協奏曲とは異なり、主題と24の変奏曲からなる全25曲で構成されています。

イタリアの作曲家ニコロ・バガニーニ (1782-1840) のヴァイオリン曲「24の奇想曲」第24番からの主題の他に、ラフマニノフの作品に好んで使用されたグレゴリオ聖歌「レクイエム」より「怒りの日」のテーマ、そして彼の最終移住先となったアメリカが発祥とされるジャズのスイングなど、様々なフレーズやリズム

ムを多用し感情豊かに表現されている点が楽曲の特色として挙げられます。

その中でも第18変奏は、単曲でテレビコマーシャルや国内外の映画・ドラマ等の挿入曲で今日まで数多く使用されているほど有名で、ピアノソロから弦楽器へと繰り返して提示されるロマンティックで美しい旋律を耳にされた瞬間、「あー、この曲聞き覚えある!」と思われることでしょう。

元々卓越した技巧と大きな手を持つピアニストであったラフマニノフは、ハンガリーのフランツ・リスト (1811-1886) と並んで作曲とピアノ演奏の両面で大きな成功を収めた音楽家として有名で、彼が作曲したピアノ協奏曲はいずれも難曲として知られています。◆嶋田 勝之 (Hr)

チャイコフスキー：交響曲第6番短調 作品74「悲愴」

交響曲第6番短調 作品74は、チャイコフスキーが作曲した6番目の交響曲であり、最後の交響曲です。「悲愴」(ひさう) という副題で知られています。

第1楽章

レクイエム的な暗さで序奏部が始まり、第1主題が弦によって現れます。木管と弦の間で第1主題が行き来しながら発展した後、休止を挟んで第2主題部へ入ります。やがてpppppp という極端な弱音指定で、静かに提示部が終わります。

打って変わってffの全合奏で展開部がいきなり始まり、第1主題を中心に扱い、その上に第2主題第の音階を重ねていきクライマックスを形成していきます。弦、木管の第一主題の変奏とクライマックスに到達するときの金管の迫りに注目です。

第2楽章

4分の5拍子という混合拍子によるワルツ。スラブの音楽によく見られる拍子で、優雅でありながらも不安定な暗さと慰めのようなメロディーが交差します。中間部は短調に転調し、一層暗さに支配され、終楽章のフィナーレと同様の主題が現れます。

第3楽章

12分の8拍子のスケルツォ的な楽想の中から4分の4拍子の行進曲が次第に力強く現れ、この楽章が最後とも思わせるような力で強く高揚して終わります。他の楽章とは異なり、この「悲愴」のなかで最も楽観的な楽章です。

第4楽章

第3楽章の終わりからはがらりと変わり、悲しい旋律で始まります。音楽は次第に高潮し、情熱的なクライマックスを形作ります。その後ppでタムタムになり、再現部の後は次第に諦観的となり、やがて曲は消えるように終わります。◆村松 真悟 (Tp)

【ピアノ】
山田 磨依



©Masahige Ogata

1990年東京出身。桐朋学園大学卒業後渡仏、2015年パリ地方音楽院最高課程修了。全日本ピアノオーディション第1位、クロード・カーンコンクール(仏)、大阪国際音楽コンクール等国内外で入賞。

フランス人作曲家J.M.ダマーズの作品研究をライフワークとし、2016年より毎年ダマーズの生誕日に記念コンサートを開催、2017年にはデビューアルバム『ダマーズ生誕90年によせて』をリリース、レコード芸術誌より“的確かつ繊細な技術と感性との持主”と評され高い評価を受けている。

これまでに伊藤悠貴、E.ハーツェル各氏の下、ナイツブリッジ管弦楽団(英)、カボソカ交響楽団(アンゴラ)他と共演。2016年より毎年ロンドンでソロリサイタルを開催し、フランスやスペインの国際音楽祭へ出演。献呈作品の初演も行い、最近是国内での精力的な演奏活動も本格化、ラジオ各局の番組への出演など、幅広い活動を展開している。江澤聖子、横山幸雄、B.エイディ、A.ウォス各氏に師事。

洗足学園音楽大学非常勤教員。プロフィール元:音楽事務所ムジカキアラ

Sakura Philharmonic Orchestra

Concert Mistress: 三宅 音菜

1st Violin

相川 みどり
浅田 桂子
伊藤 邦明
清水 俊子
f 庄司 睦美
杉森 賢人
高橋 青弓
高橋 雅英
富樫 晶

Viola

犬塚 佳子
f 大元 誠治
小川 詩織
高橋 恭子
高橋 奨
谷口 陽亮
不破 眞
松岡 裕樹

ViolonCello

上田 哲也
菅野 修平
f 清水 裕幸
谷口 桂子
通山 光正
松浦 晴彦
三澤 亜美

ContraBass

井口 信之輔
f 西中 久美子
西中 啓二
三輪 泰之

Flute

f 阿部 恵美
土方 理絵
柳田 晴生
山田 綾乃

Oboe

f コーツ 安奈
篠崎 千穂
松本 賢一郎

Clarinet

f 會田 智恵子
木村 将太
原口 豊隆
福士 未樹

Fagotto

f 大平 麻海子
山形 真生

Horn

f 川田 陽子
小林 昌樹
阪本 薫子
嶋田 勝之
富田 哲雄

Trumpet

光成 陽子
f 村松 真悟
八木 俊也

Trombone

f 阿部 博
小野 貴恒
橋本 祥一

Tuba

f 氏家 豊

Percussion

大井手 慶
川本 裕之
倉田 陸
照屋 郁美
新井田久美子

Harp

石丸 瞳

f ソートリーダー

団員募集

【募集楽器】弦楽器:ヴィオラ、チェロ、コントラバス大募集! <初級者歓迎>、ヴァイオリン(若干名)
管楽器:オーボエ(1名)、ファゴット(2名)、トロンボーン(1名)
打楽器:若干名(急募!)

【練習日】毎週日曜日 18:00~21:00

【練習会場】佐倉市民音楽ホール練習室 他

【問合わせ】 sakura_ph_or@yahoo.co.jp

第69回定期演奏会

【開催日】2019年6月16日(日) 14時開演

【場所】佐倉市民音楽ホール

【曲目】リスト「ハンガリー狂詩曲第2番」、ポロディン「だったん人の踊り」、
ドヴォルザーク「交響曲第8番」

【指揮】鈴木 衛

株式会社 野口屋

本部 佐倉市臼井田 1027
TEL 043-487-2516
FAX 043-489-3746

ゆったり駐車。らくらくショッピング!! **P** 800台

快適・安心・安全をお届けします。



京成臼井駅前 〒285-0837 佐倉市王子台1-23 TEL 043-461-1111

さとい音楽教室

体験レッスン
受付中!

エレクトーン
ピアノ
鍵盤ハーモニカ



090-3819-2135 (奈良貞)
<https://satou-music.jimdo.com>

このプログラムに掲載させていただいた広告は、
佐倉フィルハーモニー管弦楽団の活動を賛助する
ために提供されたものです。

有限会社 佐倉読売サービスセンター

代表 石波 清一

●佐倉市錦木町 1205-2 TEL 043-484-2148
FAX 043-484-2149

取扱い新聞

読売新聞・報知新聞・日本証券新聞
千葉日報・農業新聞・日刊投資新聞他

クラシック専門 音楽教室

ピアノ・ヴァイオリン・チェロ

ユーカリが丘教室

イオンタウンユーカリが丘すぐ裏
山万ユーカリが丘線「公園駅」徒歩2分

花園教室

JR新検見川駅より徒歩3分
オーケストラ特別レッスン室
京成検見川駅より徒歩1分

お問い合わせ

東京本部(椎名町教室)

Tel: 03(3959)5981

mail: ashizuka_ongakukenyujo_a42ka@ybb.ne.jp

芦塚音楽研究所



sakura
philharmonic
orchestra

- 主催/佐倉フィルハーモニー管弦楽団
<https://sakuraphil.jimdofree.com/>
- 共催/佐倉市教育委員会(佐倉市民音楽ホール)
- 後援/佐倉フィル友の会(新規会員募集中)、千葉交響楽団協会